

登呂博物館・登呂公園の現状について

1 施設名
登呂博物館、登呂遺跡、登呂公園

2 施設の目的
特別史跡指定を受け、国の象徴的文化遺産である登呂遺跡と、755点の重要文化財指定の出土品を有する博物館であり、歴史公園に位置付けられている。現在は、発掘調査によって明らかにされた稲作農耕文化と、発掘調査がもたらした社会的・学史的意義を中心テーマに据え、博物館内と遺跡内で展示、教育普及活動を展開している。

3 設置年度
昭和27年 遺跡が国の特別史跡に指定 昭和30年 静岡考古館（博物館の前身）開館、昭和47年 登呂博物館開館、平成22年 登呂博物館リニューアルオープン

4 施設運営形態
直営

5 施設面積・形状（写真や図面）
施設の概要
遺跡内に発掘調査で明らかになった形で、住居4棟、高床倉庫2棟、祭殿1棟、住居跡及び水田を復元している。また、再整備前に復元されていた住居1棟、高床倉庫1棟、住居跡をメモリアル広場として整備している。火起こし体験や土器炊飯試食、復元水田での稲作体験などができる。
登呂博物館には、2階に登呂遺跡の出土品を展示する「常設展示室」、登呂遺跡に係わらずテーマを定めて展示する「特別・企画展示室」、1階には、とろムラを再現し、弥生時代の様々な体験ができる「弥生体験展示室」や、「登呂交流ホール」、「情報コーナー」、「図書コーナー」がある。屋上には遺跡を一望できる「展望コーナー」がある。なお、登呂遺跡・登呂博物館は都市公園である登呂公園の中に位置している。
博物館入館料、遺跡見学料 無料
博物館2階観覧料 一般300円 高・大学生200円、小・中学生50円
(団体料金、回数券、芹沢銈介美術館との共通券あり)



遺跡全景



復元祭殿



火起こし体験



博物館全景



常設展示室



弥生体験展示室

6 年間利用者数 (単位：千人)

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
博物館入館者数	183	184	186	184	167
博物館観覧者数	47	43	42	45	41

7 コスト (単位：千円)

年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
歳入	5,387	8,301	9,619	12,720	13,436
歳出	90,641	112,917	113,464	121,261	130,694

8 主な利用実績（活用方法）

- 1 施設の利用概要・課題等
博物館は、1階の無料部分に体験学習の場となる弥生体験展示室、2階の有料部分に重要文化財の展示がある常設展示室、年4回の企画展示の場となる企画展示室がある。
主催の講座・イベントは、市民参加による遺跡の水田での米づくり体験、企画展関連講演会、夏休みの子ども向けイベント等、年間22回(H29)、共催事業は、大学連携のイベント、シズオカ×カンヌウィーク他、年間13回(H29)開催している。また、教育施設として小学校の社会科学習や歴史学習などの見学を毎年多数受け入れているほか、全国の大学における学芸員資格取得課程における博物館実習や、市内中学生の職業体験実習、インターンシップなどにも積極的に関与し、その社会的役割を果たしている。
- 2 広報活動・取材記録
テレビ、ラジオ放映が14件(H29)、新聞掲載は43件(H29)、有料雑誌広告は12件(H29)、無料広告は、28件(H29)、ウェブサイト等36件(H29)
イメージキャラクターの「トロベ」による宣伝活動を年間27回(H29)
- 3 ボランティアによる活動
体験展示室での展示解説ほか、イベント補助や水田活動、施設見学研修参加等、45名の登録者(H29)が日常的に精力的に活動している。
- 4 音声ガイド
平成30年より、インバウンド需要に対応するため、無料の音声ガイド20台を導入。日本語、英語、中国語、韓国語の4か国語に対応。
- 5 地域との連携
地元「登呂会」と呼ばれる自治会を母体とした地域団体が主宰する「登呂まつり」の開催に協力し、登呂遺跡・博物館が地元の誇りであることを再認識していただく機会としている。